

Q 安定ヨウ素剤って何ですか?



A 安定ヨウ素剤は、原子力災害の発生時に服用する医薬品です。安定ヨウ素剤を服用することで、原子力災害時に放出されるおそれのある「放射性ヨウ素」による甲状腺の内部被ばくを抑えることができます。(外部被ばくや、放射性ヨウ素以外の放射性物質による内部被ばくを抑えることはできません。)

安定ヨウ素剤の服用は、原子力災害時に、国または県、市町から広報等を通じて指示が出されます。

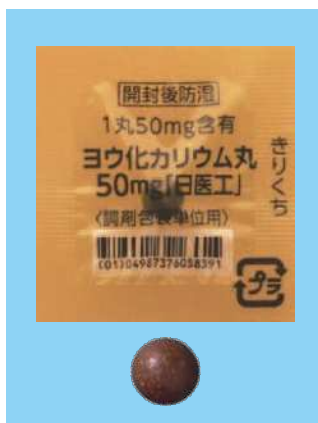
お住まいの地域により、安定ヨウ素剤の配布方法が異なります。

① PAZ (発電所から 5km 圏)

希望する方へ説明会にて事前配布をしています。これまでに説明会に参加したことのない方や、使用期限の近い安定ヨウ素剤をお持ちの方は、県や市からの案内に従って、説明会に参加してください。

② UPZ (同 5 ~ 31km 圏)

原子力災害の発生時に、国の指示に基づき、市町が緊急配布を行います。避難や一時移転等と併せて、原子力規制委員会が必要性を判断します。



【図 安定ヨウ素剤】

浜岡原子力発電所の運転状況

前ページまでの環境放射能の測定を行った期間中(令和5年1月~3月)、浜岡原子力発電所の1号機及び2号機は廃止措置中であり、3号機、4号機及び5号機は運転停止中でした。

なお、令和5年8月3日現在、3号機、4号機及び5号機については定期事業者検査及び地震・津波・重大事故対策等を実施しています。

「原子力だより」の内容についてご質問等がありましたら、下記までお寄せください。

静岡県原子力発電所環境安全協議会事務局
静岡県危機管理部原子力安全対策課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL.054(221)2088 FAX.054(221)3685

E-mail antai@pref.shizuoka.lg.jp

ホームページアドレス: <http://www.pref.shizuoka.jp/bousai/kakushitsu/antai.html>

静岡県環境放射線監視センター

〒421-0411 牧之原市坂口3520-17 TEL.0548(29)1111 FAX.0548(29)0335

ホームページアドレス: <http://www.hoshasen.pref.shizuoka.jp>



平成28年度から、安定ヨウ素剤の事前配布説明会を開催して、PAZ圏内の地域にお住まいの方に安定ヨウ素剤を事前配布しています。安定ヨウ素剤は、放射性ヨウ素による内部被ばくを低減する効果があります。

令和5年1月~3月の環境放射能の調査結果

静岡県原子力発電所環境安全協議会では、浜岡原子力発電所の周辺環境の安全を守るために行っている環境放射能調査の結果を、四半期ごとに取りまとめ、「原子力だより」でお知らせしています。

令和5年1月から3月の調査結果では、浜岡原子力発電所からの環境への影響は認められませんでした。

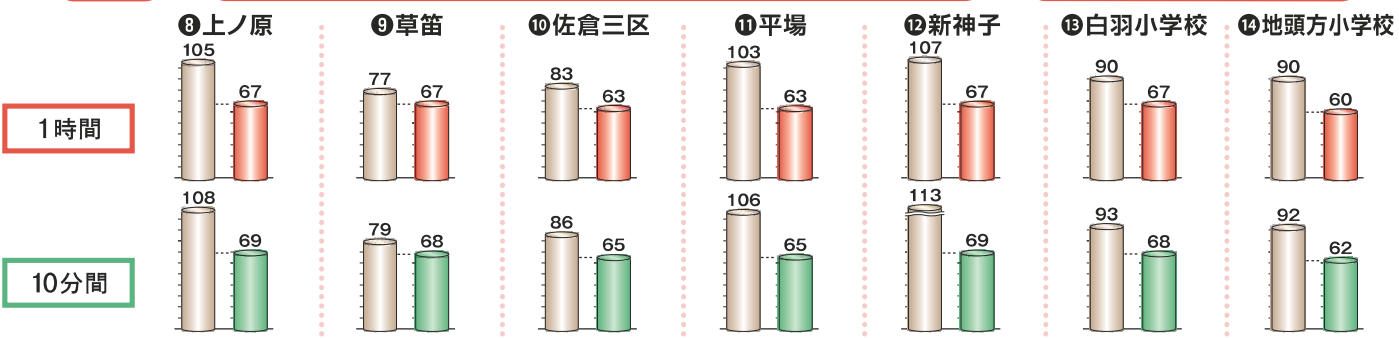
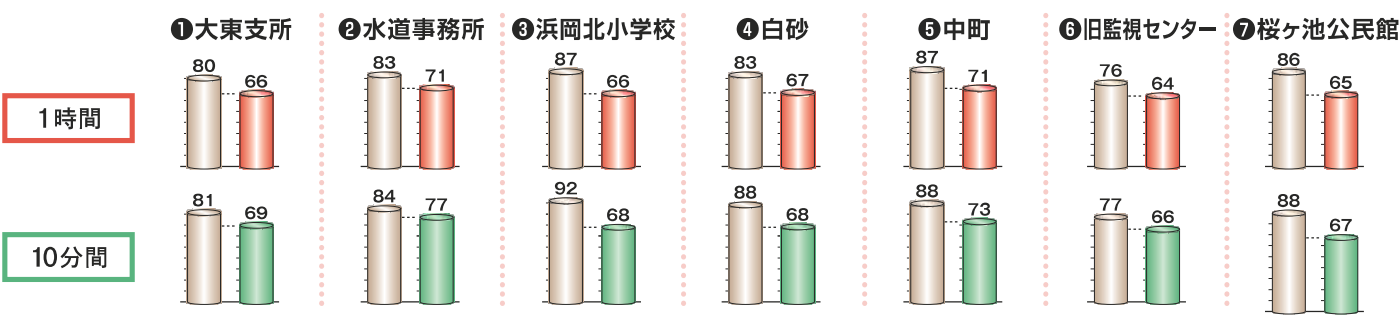
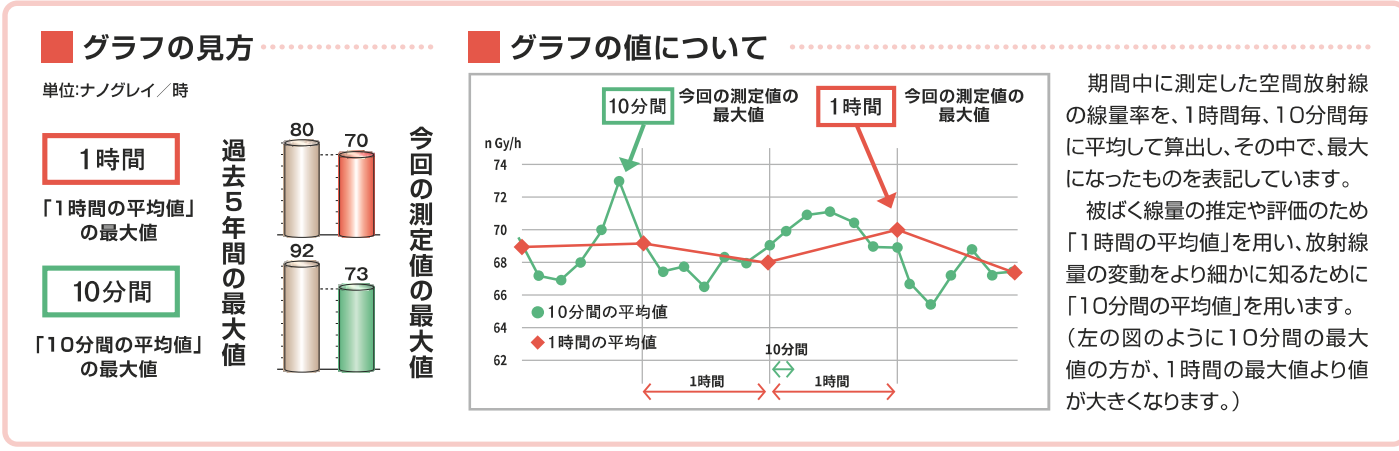
今回の調査結果では、東日本大震災に伴う東京電力 福島第一原子力発電所の事故等による人工放射性物質の影響が見られましたが、健康への影響は心配ないレベルでした。

(詳細は次ページ)

令和5年1月～3月の 浜岡原子力発電所周辺の環境放射能調査結果

空間の放射線の測定（1時間平均値 および 10分間平均値の最大値）

モニタリングステーション（14か所）において、常時、空間放射線の量を測定しています。令和5年1月から3月の間の測定結果で過去5年の最大値を超えた地点はありませんでした。測定された値は、東電事故等の影響は認められず、自然放射線由来のものです。



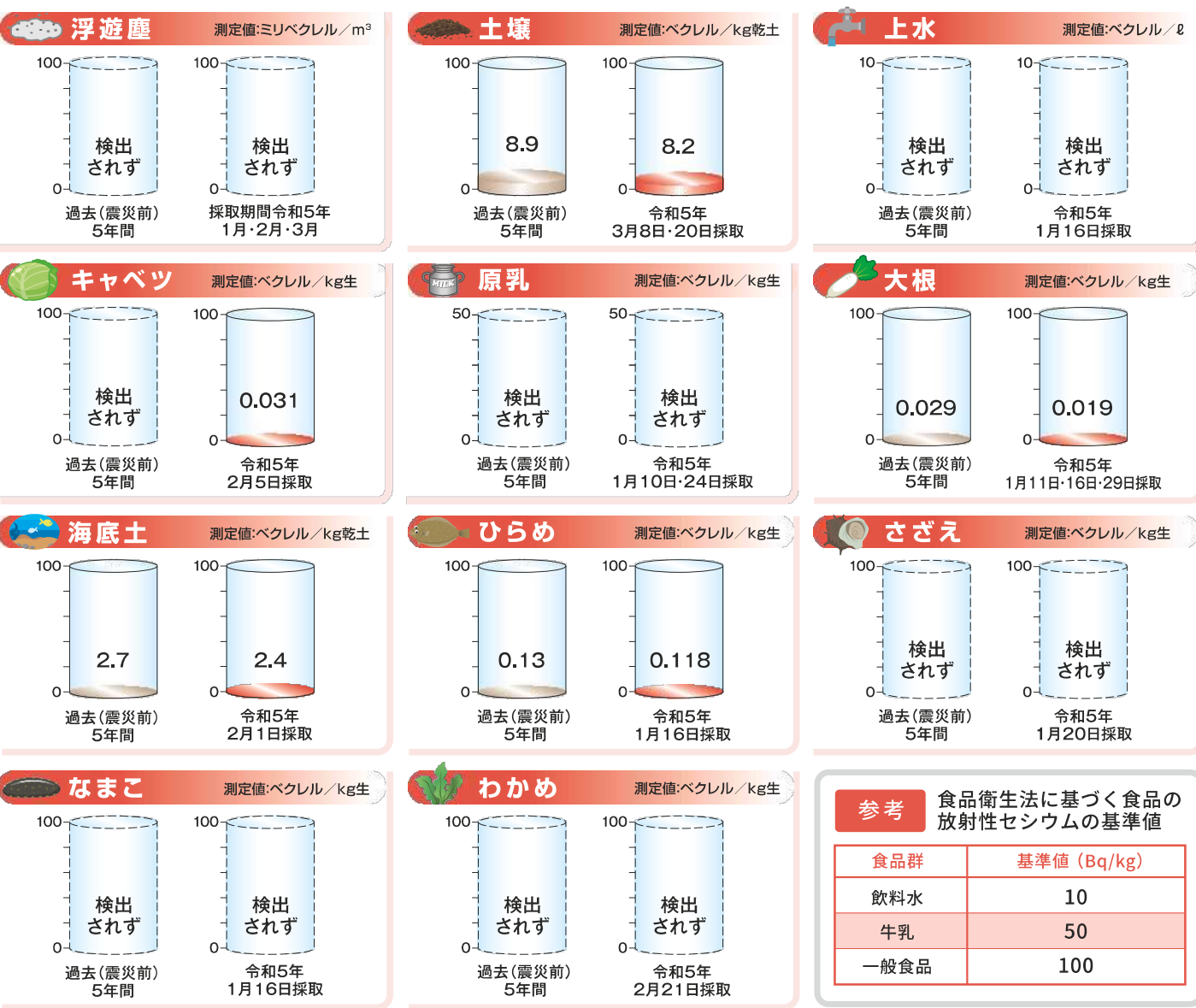
測定結果から、自然放射線による外部被ばく線量は、年約0.29mSvと推定されます。（日本平均約0.33mSv、世界平均約0.48mSv※）
※新版 生活環境放射線（国民線量の算定）平成23年12月（原子力安全研究協会）から引用

農産物などの放射能の測定

浮遊塵や農水産物などについて、放射能を測定しました。令和5年1月から3月の間に測定した試料の一部※は、過去（震災前）5年間の最大値を上回りましたが、いずれも国の基準*等を大きく下回るものでした。検出された放射能は、過去の核爆発実験などの影響によるものや、東京電力 福島第一原子力発電所の事故の影響によるものと推定しました。

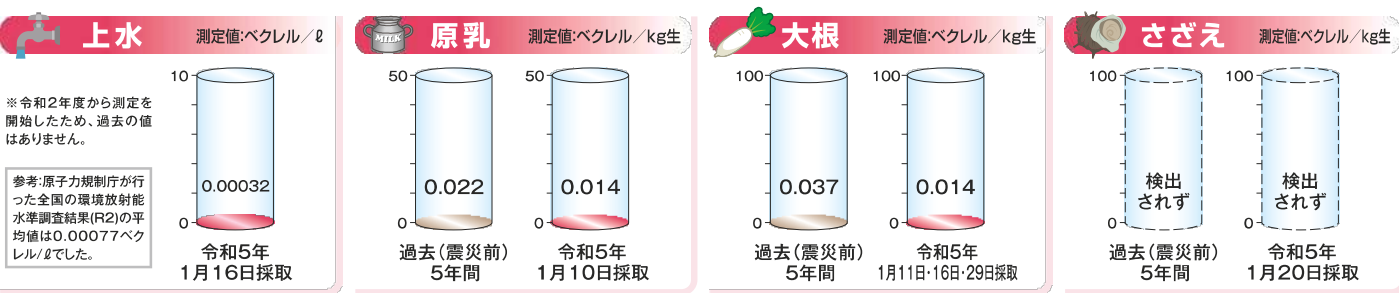
※測定した12試料41検体のうち、試料検体（キャベツ1検体）
*食品衛生法に基づく基準値(参考欄参照)

代表的な試料の放射性セシウム の測定値の最大値



参考 食品衛生法に基づく食品の放射性セシウムの基準値	
食品群	基準値 (Bq/kg)
飲料水	10
牛乳	50
一般食品	100

代表的な試料の放射性ストロンチウム の測定値の最大値



放射能調査に用いる単位		参考	
■グレイ (Gy)	放射線のエネルギーが物質に吸収された量(吸収線量)の単位	ミリ(m)	1/1,000 千分の1
■シーベルト (Sv)	吸収線量を基に人体への影響を考慮して算定した線量の単位	マイクロ(μ)	1/1,000,000 百万分の1
■ベクレル (Bq)	放射能の強さを表す単位	ナノ(n)	1/1,000,000,000 10億分の1